

鳥取砂丘コナン空港と周辺観光地等を結ぶ二次交通改善活動プラットフォーム (第1回会議)の開催結果について

令和4年8月19日
空港港湾課

鳥取砂丘コナン空港と周辺観光地等を結ぶ二次交通改善活動プラットフォーム(第1回会議)が民間主導で開催されましたので、結果について報告します。

1 背景

鳥取県は“鳥取空港(愛称:鳥取砂丘コナン空港)は、首都圏や海外からの空の玄関口!ここから、鳥取観光・滞在がスタート!”をテーマに「鳥取砂丘コナン空港を拠点とした賑わいづくり事業」を推進している。一方、現状において、県民などからの声として、「鳥取に来て欲しいアピールは見受けられるが、鳥取空港から先のアクセスに配慮が足りない。」、「鳥取大学前駅までのシャトルバスを設けて欲しい。」、「倉吉駅方面行きバスの途中下車できるポイントを増やして欲しい。」、「夜便到着時のタクシーを増やして欲しい。」及び「鳥取空港と鳥取港・鳥取砂丘を行き来しやすくして欲しい。」という意見(要望)がある。

2 取組方針

前述の意見を踏まえ、鳥取空港・鳥取港をセットにしたツインポート、鳥取空港ビル内のテナント、そして、名探偵コナンの装飾など鳥取空港の持つポテンシャルを活かしつつ、ANAホールディングス㈱、県内交通事業者を含む地元・民間・学術・行政等の多機関が連携し、観光振興・ワーケーション推進と住民生活維持の「融合」を目指した公共交通網の点検・再構築を行い、地域活性化を進める。併せて、アフターコロナを見据えて、今後見込まれる航空・観光需要の回復に速やかに対応できるよう施策を進める。

3 開催結果

- (1) 日時: 令和4年7月22日(金) 午後2時30分から午後4時30分まで
- (2) 場所: 鳥取砂丘コナン空港 国際線ターミナルビル 2F(出国待合室)
- (3) 構成員: 【座長】鳥取大学教授 谷本圭志、【航空関連】ANAホールディングス㈱、ANAあきんど㈱、全日本空輸㈱、【交通事業者】西日本旅客鉄道㈱米子支社、日ノ丸自動車㈱、鳥取ハイヤー共同組合、ニッポンレンタカー中国㈱、【観光団体・民間会社】鳥取商工会議所、鳥取県商工会連合会、(一社)鳥取市観光コンベンション協会、(一社)麒麟のまち観光局、(有)コナン・クリエイション(北栄町観光協会)、鳥取空港空の駅オヤジの会、鳥取空港空の駅女子会【オブザーバー】鳥取市、倉吉市、岩美町、八頭町、湯梨浜町、北栄町、鳥取県(空港港湾課、地域交通政策課、観光戦略課)【事務局・調査会社】鳥取空港ビル㈱、八千代エンジニアリング㈱(以上、順不同・名簿順:出席者32名)
- (4) 結果概要: 鳥取空港内に多機関を構成員とする「鳥取砂丘コナン空港と周辺観光地を結ぶ二次交通改善活動プラットフォーム」の創設・設置及び「第1回会議」が民間主導で開催された。会議では、主旨説明、構成員紹介、取組イメージ、調査内容説明、意見交換が行われた(図-1, 2, 3, 表-1)。構成員であるANAホールディングス㈱からは自社MaaS^{※1}の取組説明があり、本プラットフォーム活動への積極的な協力の意向が確認された。

※1: MaaS(Mobility as a Service)とは、スマートフォンなどを活用し、観光エリア等までの航空、鉄道や高速バスなどの一次交通、観光エリア等における鉄道、バスやタクシーなどの二次交通、観光施設や宿泊施設などの検索・予約・決済を統合したサービスを示す。なお、公共交通と観光のDX(Digital Transformation)化によって、複数の交通機関やサービスを途切れないように連携し、様々な用途で使えるMaaSが可能となる。

- (5) 主な意見:
 - このプラットフォームはウィズコロナやアフターコロナを考えた作戦を考えるいい機会である。
 - 空港二次交通の情報や支払い方法の統合について、現状キャッシュレスや電子化は進んでおらず、統合化・電子化における課題を明らかにして欲しい。
 - 路線バスの定時性確保の特性から空港経由の路線調整は難しいが今後考えていきたい。4、5年前に期間限定で実証運行した鳥取砂丘〜かにか〜館〜鳥取空港を結ぶ路線を見直しながら考えていけたら良い。
 - 航空便間の隙間時間をどのように過ごすかが課題である。ワーケーション施設の利用実態等も踏まえ、隙間時間の過ごし方をポイントにアンケートを実施してはどうか。
 - 時間を気にせず移動できる車利用者と比較し、空港二次交通利用者が「本当は行きたかったが行けなかった場所はどこか、行けなかった理由は何か」という視点でアンケートを実施する必要がある。
 - 台湾からの訪問客は飛行機内で検索した情報から先行やルート等の行程を決めているが、検索時の広告は北陸や南紀が多く、山陰はない。コロナ禍収束後に若者や外国の方にフィットする情報を提供できる仕組みの構築等、将来の方向性を考えないと他地域に遅れをとる。

4 今後の予定

会議意見を踏まえ、各種アンケート調査や携帯GPSデータの移動実態分析による空港二次交通概況調査を実施し、新たな空港二次交通サービス及び移動円滑化に関する情報提供サービスの検討等を実施する。



図-1 第1回会議開催の様子(左:全体、中央:座長挨拶、右:意見交換)

第1回会議で示された資料抜粋

【取組みの方向性のイメージ】3つの出口戦略から、来訪者を自宅から目的地までストレスなく案内し、楽しい移動を提供



図-2 取組みの方向性のイメージ(1)

【取組みの方向性のイメージ】今後展開を想定する方策は以下のとおり



図-3 取組みの方向性のイメージ(2)

表-1 令和4年度活動スケジュール(予定)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
会議					第1回(7月22日) ・立ち上げ ・調査内容確認		第2回(10月ごろ予定) ・調査結果 ・二次交通方向性協議				第3回(1月ごろ予定) ・計画内容確認 ・次年度以降の展開協議		
各種調査	空港二次交通概況調査												
	各種アンケート調査	①交通事業者											
		②周辺自治体											
		③空港利用者 周辺観光地来訪者											
	④地域住民												
検討項目	空港二次交通・周遊サービスの抽出・提案												
	移動円滑化に関する情報提供サービスの抽出・提案												
	実現可能性の検証												
	(仮称)鳥取空港航空機利用・地域交通戦略策定												

本年度の成果：「(仮称)鳥取空港航空機利用・地域交通戦略」の策定
 ・ 空港二次交通等に関する取組み内容、事業スケジュール、実施主体を整理したもの